

第2期 難波地区地域福祉活動計画

令和4年度～令和8年度

【基本理念】

ささえあい 思いやりが育つ里 難波



盆の火祭り『火やろ』

難波地区社会福祉協議会

表紙 盆の火祭り『火やろ』の説明

難波地区では、毎年八月十四日に「火やろ」と言って、子供たちが盆の迎え火をしている。日暮れになると、子供たちはボールのように丸めた布、綿を針金で竹竿につるし、火を灯します。川の端に一行に並び「火やろ」「火やろ」と声を上げながら、左右に振り先祖の霊を迎えます。

翌十五日は送り火「また、来年こいや」と火の玉を振り、別れを惜しみます。送り火がたかれ、先祖の霊が帰っていくと、夏も終わりが近づきます。

第 2 期 難波地区地域福祉活動計画の策定にあたって

この度、難波地区社会福祉協議会では松山市社会福祉協議会の協力のもと第 2 期 地域福祉活動計画(令和 4 年度～令和 8 年度)を策定する事になりました。

第 1 期は、平成 2 8 年に策定され、その後、地域を取り巻く環境は少子高齢化が更に進み、独居高齢者や 6 5 歳以上の高齢化率も増加しています。

難波地区地域福祉活動計画の基本理念である

『 ささえあい おもいやりが育つ里 難波 』

を各種団体や住民による支えあい・思いやりのある中で、安全・安心な生活が出来るよう皆んなで実現したいと思います。

難波の地勢は松山市の北部に位置し、海・山・川・田畑に囲まれ、地域の公民館活動を基盤として地域内の交流が保たれ、少子高齢化が進む中においても、お互いが助け合う穏やかな地区であり、又、社会福祉関係の施設(保育園・知的障がい者支援施設・高齢者介護施設等)も充実しており、身近な場所で相談ができ、安心して暮らせる地区でもあります。

地区内には道の駅「風和里」があり、高齢者が果物・野菜等生鮮食品を出荷し、生きがいつくりの一環となり、消費者にも廉価で新鮮と喜ばれています。

その他、地元スポーツセンター等と連携し各種スポーツやグランドゴルフ等社会参加を通じた介護予防活動も各季を通じて行われ、元気でいきいきと楽しみのある地区を実践しています。

一方、急速な少子高齢化の進展、独居高齢者の増加や家族構成の変化等、社会構造の複雑・多様化がもたらす課題が、ここ難波にも生じています。

まさに地区住民が日常の中で、相互に支え合い・思いやりをはぐくみ、助け合いの生活を営まなければなりません。誰もが安心して暮らせ、思いやりのある地域づくりを目指したいと思います。

これらを実現する為、松山市策定<ささえあいプラン>、松山市社会福祉協議会策定<なもしプラン>と連携した、第 2 期 難波地区地域福祉活動計画を策定しました。

この計画を元として、難波地区社会福祉協議会は民児協や各種団体・地区の住民参加による支え合いで、更に、誰もが安心して生きがいや思いやりの持てる地域福祉の増進に取り組んで行きましょう！

最後に、この計画策定にあたりご尽力を賜りました策定委員・関係団体及び市社会福祉協議会事務局の皆様には深謝すると共に厚くお礼を申し上げます。

令和 4 年 10 月

難波地区社会福祉協議会

会長 池内 和美

目 次

難波の過去・現在・未来	P 1～4
難波地区の行事・催し物	P 5
難波地区内の各種施設	P 6
難波地区社会福祉協議会の概要	P 7～9
地域福祉に関する3計画の比較	P 10
難波地区地域福祉活動計画	P 11～13
難波地区地域福祉台帳	P 14～17
難波地区地域福祉活動計画策定委員会の開催状況	P 18
難波地区地域福祉活動計画策定委員会名簿	P 19

※ 本文中の略語

- | | | |
|--------|---|---------------|
| ・市社協 | = | 松山市社会福祉協議会 |
| ・地区社協 | = | 難波地区社会福祉協議会 |
| ・地区民児協 | = | 難波地区民生児童委員協議会 |

難波の過去・現在・未来

難波の歴史

難波^{なんば}は、北条平野の北端山裾に南向きに東西に広がった田園地帯で、弥生時代(紀元2世紀頃)の上難波古墳群から、住居跡で炭化した木の実が発見され、又、古墳時代には下難波新城古墳群が構築されています。

難波という地名は古く『日本書紀』持統天皇10年(696年)難波郡とあり、又、「^{わみょうるいじゅしょう}和名類聚抄(930年)」という我が国最古の辞書に「風早郡(加佐波夜)^{かざはや}」(=旧北条市域)難波郷の名が記されている事から、早くから拓けていた事が分かります。

江戸時代の寛政5年(1793年)に下難波 鎌大師堂に松尾芭蕉の『草臥れて宿かるところや藤の花』の句碑が建立され、又、寛政7年(1795年)には俳人 小林一茶が上難波最明寺の茶来を訪ね『朧朧ふめば水なりまよひ道』、同 高橋方では『月朧よき門探り当てたるぞ』の句を残している。更に、弘化3年(1846年)には下難波貴船神社に地元俳人33人による連句の俳額が残されている。

明治30年(1897年)郡制が実施され風早郡は和気・温泉・久米・下浮穴と合併して温泉郡となり、昭和26年難波村・北条町・正岡村が県下で一番に合併し北条町に、昭和30年には北条町・浅海村・立岩村・河野村・粟井村が合併し北条市となりました。その後、平成16年に北条市は松山市と合併し松山市となっています。

難波の文化財等

○国指定 重要文化財 = 木心乾漆菩薩立像・木造菩薩立像

荘園に由来する地名と言われる「庄」の薬師堂には、平安時代(794~1185年)初期の作とみられる仏像2体<木心乾漆菩薩立像><木造菩薩立像>が収められ昭和40年5月29日に指定されている。

○国指定 天然記念物=エヒメアヤメ

エヒメアヤメはアヤメ科の植物で「下難波」の腰折山^{こしおれさん}に、陽春3月下旬から4月上旬に咲く、薄い紫色の可憐な花で「エヒメアヤメ自生南限地帯」として、大正14年10月8日に国指定天然記念物となっている。

○県指定 有形文化財=木造毘沙門天立像1軀

庄の毘沙門天堂にあり、像の特徴から平安時代初期(860年頃)の特性を備えており、高さ182センチの一木彫で身体全体が量感と力の充満した堂々たるものである。

○同上=木造大暁禪師像・絹本著色月庵宗光像1幅・木造毘沙門天立像1軀他がある。

難波地区の世帯・人口数の移り変り

(単位:人)

	年月日	世帯数	人口			年齢別人口			高齢化率
			総数	男	女	(再掲) 0~14歳	(再掲) 15~64歳	(再掲) 65歳以上	
中通村	享保6年(1721)	81	395	206	189	資料なし			
	嘉永6年(1853)	74	337	177	160				
	安政5年(1858)	89	401	211	190				
	文久3年(1863)	92	391	208	183				
	慶応4年(1868)	63	388	213	175				
下難波村	天保9年(1838)	94	467	250	217				
	明治元年(1878)	123	631	331	300				
	大正5年(1918)	157	978	507	471				
	昭和47年(1972)	160	769	360	409				
難波	明治44年(1911)	383	2,104	1,049	1,055				
	大正5年(1916)	406	2,132	1,071	1,061				
	昭和5年(1930)	424	2,213	1,112	1,101				
	昭和15年(1940)	443	2,325	1,137	1,212				
	昭和25年(1950)	567	3,237	1,565	1,672				
	平成17年(2005)	819	2,232	1,051	1,181	219	1,337	676	30.3%
	平成27年(2015)	934	2,084	964	1,120	173	1,140	771	37.0%
	令和4年(2022)	934	1,789	839	950	132	907	750	41.9%

※ 北条市誌・エヒメアヤマの里・松山市住基人口データ参照



なんば 難波地区

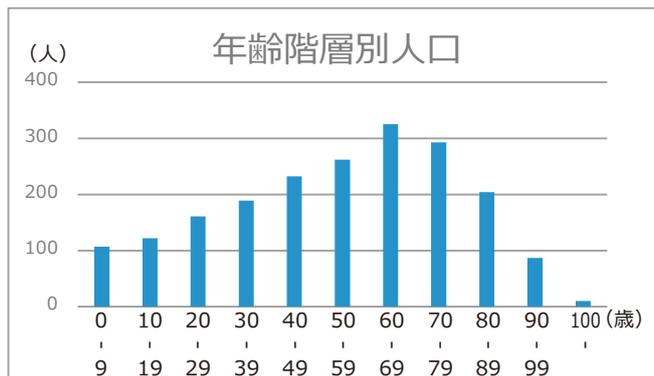
面積：9.44km²
人口：1,789人（高齢化率41.9%）
世帯数：934世帯

【地区の特色】

難波地区は、高縄山系から北側に連なる恵良山や国の天然記念物えひめあやめの自生する腰折山の麓と瀬戸内に面した豊かな自然に包まれ、伝統ある歴史・文化が継承されてきたのどかな農山村地域である。難波に住んで良かったとお互いが思える街づくりを目指し、地域住民のコミュニケーションづくりを展開している。



風早火事祭り



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対する気遣いがある ・ゲートボールやグラウンドゴルフを楽しみにしている ・高齢者や障がい者施設がある ・障がい者施設のまつり（北条育成園）がある ・自然に恵まれている ・同居世帯が多い ・スーパー、コンビニがある ・公民館活動が盛んで公民館、学校、地域が連携している ・町内会行事への参加が多い ・難波子ども教室で子どもを見守っている
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが増えない ・銀行がない ・空き家が増えてきた ・交通の便が悪い ・津波の心配がある ・土砂災害警戒区域が多い ・独居高齢者が多い ・高齢者が遊ぶところ、機会が少ない ・独居高齢者の見守りが大変（対象者が増加） ・町内の役の担い手がない（人手不足） ・鳥獣の被害が多い
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い ・高齢者の集いの場が少ない ・土砂災害警戒区域が多い ・各種団体の後継者不足 ・独居高齢者が増加している ・買い物困難者が多い

■ 難波地区の概要

(令和4年7月1日現在)

面積	9.44k㎡
人口	1,789 人
世帯数(1世帯当たりの人口)	934世帯(1.92人)
高齢者数(高齢化率)	750人(41.9%)
民生委員・児童委員(主任児童委員)	5人(2人)
町内会・自治会・区長会等	6ヶ所

難波地区は、高縄山系から北側に連なる恵良山や腰折山の麓と瀬戸内に面した豊かな自然に包まれ、伝統ある歴史・文化が継承されてきたのどかな農山村地域である。近年は65才以上の人口が42%以上を占める高齢化地域であるが、郷土芸能(獅子舞など)保存活動が行われている。又、子どもたちによる相撲大会・亥の子など、子どもたちから高齢者までを視点にした生涯学習が展開され、「ひとが輝き まちが輝く いきいき難波」を難波公民館の基本理念に、難波に住んでいて良かったとお互いが思える街づくりを目指し展開している。



難波地区の行事・催し物



エヒメアヤメ見学会



運動会



グランドゴルフ交流会



田植え



サマーレクリエーション



稲刈り



文化展



寄せ植え教室



コマ回し大会



ふるさとまつり

難波地区内の各種施設



難波地域活性化センター（＝難波公民館）



慈童保育園



安寿会 難波（高齢者介護施設）



あやめ荘（高齢者介護施設）



北条育成園（障がい者支援施設）



あかつきの郷（障がい者支援施設）



サンシティー北条(高齢者総合福祉施設)



グループホームなでしこ

難波地区社会福祉協議会

ささえあい 思いやりが育つ里 難波

構成団体	地区民協・公民館・区長会・公民館運営審議会・交通安全協会 青少年健全育成協議会・保育園・高齢クラブ・小学校・サロン代表者 独居高齢者みまもり員・PTA・高齢者施設・包括支援センター	
主な取り組み	活動内容	
いじめや差別のない地域の推進（人権啓発）	難波地区内でいじめや言われなき差別がなくなるよう、小学校・公民館と共に協力して推進しています。	
高齢者が元気で生きがいを感じる地域の推進	高齢者がどのような状態であろうとも、元気で生きがいを持って過ごせるよう支援すると共に行事等を通じて交流を図っています。	
防災に強い地域づくりの推進と地域住民との連携	公民館活動を中心に避難しやすい避難所の充実と自主防災組織との連携で安全な地域づくりを推進します。	

笑顔でいきいき健康教室

地域住民を対象にいきいきとした生活が送れるよう、日頃の食事の大切さや偏らない食事の方法等栄養について学んだり、レクリエーションを通じて運動の大切さ、認知症を予防するための脳トレ等の体験を皆で楽しく行っています。又、実施の際には地域包括支援センターの保健師さんに、血圧測定等をお願いしています。



<地区社協が目指すもの>

難波地区は、海・山・川・田畑に囲まれた環境の中、地域の公民館活動を基盤として地域内の交流が保たれ、少子高齢化が進む中においてもお互いに助け合う穏やかな地区であり、又、社会福祉関係の施設(保育園、知的障がい者施設、高齢者介護施設等)も充実しており、身近な場所で相談ができ、安心して暮らせる地区でもあります。難波地区社協としていじめや差別のない地域、高齢者が元気で生きがいを感じる地域、近年の気温上昇による雨風、それによる災害等にかかる災害に強い地域づくりと住民の連携による防災体制の充実を目指していきます。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	5名 2名	■町内会・自治会・区長会等	6団体
	■まち協の設立	—	■高齢クラブ	4クラブ
■子ども会（愛護班）			5団体	
			■自主防災組織	5組織

■ 難波地区社会福祉協議会について

主な活動拠点	難波地域活性化センター
事務拠点	難波地域活性化センター（難波公民館）
構成メンバー	会長（1名）・副会長（2名）・事務局長（1名）・会計（1名） 理事（10名）・評議員（20名）・監事（2名） 援護部長（1名）・啓発調査部長（1名）
理事会等の開催	理事会（年1回）・評議員会（年1回）
構成関係団体	民児協・公民館・区長会・公民館運営審議会・交通安全協会・ 保育園・高齢クラブ・小学校・愛護班・高齢者介護施設・地域包 括支援センター・独居高齢者みまもり員等
主な自主事業	地域福祉サービス事業、福祉学習事業、三世代交流会、 ふれあい給食サービス、ねたきり・独居高齢者訪問、 高齢者介護施設訪問、ひとり親家庭援護、福祉だより作成、 ふれあい・いきいきサロン事業（ほか）
サロン数	ふれあい・いきいきサロン 4ヶ所
地域福祉活動計画の策定状況	基本理念「ささえあい 思いやりが育つ里 難波」 【第2期計画】令和4年度策定計画期間 令和4年～令和8年

■ 地区社協の目指すもの

<p>1. いじめや差別のない地域づくりの推進</p> <p>① いじめや言われなき差別がなくなるよう小学校、公民館等共に共働して推進する。</p> <p>② 各種団体間においても北条ブロックの人権教育協議会のスローガンである『学ぼう人権 なくそう偏見 つくろう明るい社会』の実践に向けた共働をする。</p> <p>2. 高齢者が元気で生きがいを感じる地域づくりの推進</p> <p>① 安心して過ごせるよう、ささえあい・思いやりのある地域づくりをする。</p> <p>② 生きがいを持って、生活が出来るようランドゴルフ等の趣味活動を通じて楽しみのある生活が出来るよう支援する。</p> <p>3. 防災につよい地域づくりの推進と地域住民との連携</p> <p>① 避難所の充実 近年の気温上昇による雨風、それによる災害に対し公民館、自主防災組織との共働により、災害に強い地域づくりをする。</p> <p>② 地域住民に対し、災害時等の避難・対応方法を広報し、防災体制の充実を図る。</p>

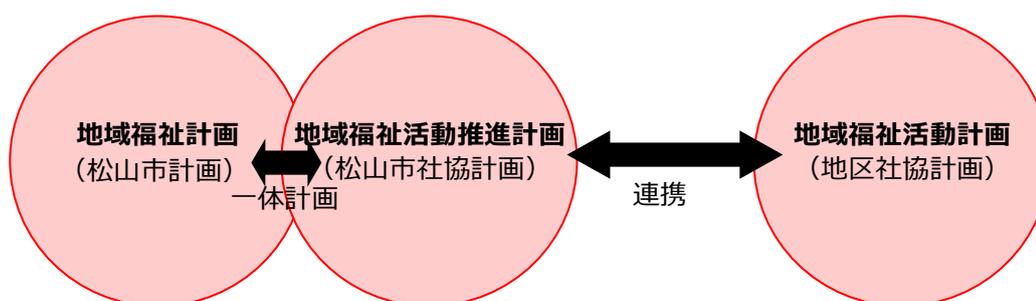
☆ 難波地区 社会福祉協議会 各種事業の内容 ☆

- (1) いきいき健康教室 年間3～4回開催、高齢者介護施設・地域包括支援センターとも協力し、地域住民が健康で生きがいを持って生活ができるよう実施する。
- (2) ふれあい給食 独居高齢者の方を訪問し、安否確認や要望等を聞きながら弁当や水分を配布し、楽しみがある生活ができるよう支援する。
年間3回；概ね6月、9月、3月
- (3) 敬老週間訪問 敬老週間に独居高齢者及びねたきり高齢者宅等を訪問し、必要なサービス等を聞きながら安心して暮らせるよう支援する。(記念品を持参)
- (4) 高齢者等施設訪問 現在はコロナ禍により実施が出来ていないが、11月に難波地区の高齢者介護施設・支援施設等を訪問する。
- (5) サロン交流会 地区内の4ヶ所のサロン代表者(各2名)と地区社協事務局、市社協北条支所・地域包括支援センター・地区内介護施設等の職員とで、活動状況・課題の情報交換や解決に向けた場としている。
- (6) 保育園との交流会 現在はコロナ禍により実施が出来ていないが、地区内にある慈童保育園との交流を図り、親睦を深める。
- (7) 三世代交流グランドゴルフ大会
高齢クラブ、小学生、社協関係者がグランドゴルフを通じて交流を深め、次世代の育成に資する。
- (8) ふれあい田ん坊 小学生が高齢者等と田植え、稲刈り、もちつき等を通じて食料が出来る過程を共有すると共に、交流を深める。
- (9) その他の事業
- ひとり親家庭みまもり
 - 高齢クラブ助成
 - 小学校の新入児童及び卒業生へ記念品
 - 福祉だよりを年間2回発行
 - 郷土遺産保存活動(庄獅子舞、庄大根、伊予漫才、エヒメアヤメ保存会)等に助成
 - 難波子供教室に助成
- 等

地域福祉に関する計画の連携と比較

地域福祉の推進を図るためには、下記の計画が内容を一部共有し、策定過程を共有する等、相互に連携し一体となって進めることが重要であり、互いに補完・補強しあう関係にあります。

【イメージ図】



【地域福祉に関する計画の比較】

計画	地域福祉計画・地域福祉活動推進計画 (このまちのえがおプラン)	地域福祉活動計画
策定主体	松山市・松山市社協	難波地区社協
対象地域	松山市内	地区内
実施期間	5年	5年
基本目標 (基本理念)	みんなが つながる 支える まちづくり	「 ささえあいと 思いやりが育つ里 難波 」
計画の特徴	<p>目標1 支えあいの心を育む</p> <p>目標2 みんながつながり参加できる環境づくり</p> <p>目標3 丸ごと支援のしくみづくり</p> <p>目標4 福祉サービスの健全な発達と適切な利用促進</p> <p>以上の4項目を個別目標に掲げ、住民一人ひとりや住民組織、ボランティアグループ、NPO等の関係団体、学校、事業所等、地域の多様な主体がそれぞれの役割を担いながら、互いにつながり、支えあうことで、“誰もが暮らし続けたい”と思えるまちづくりを目指します。</p>	<p style="text-align: center;">【基本計画】</p> <p>① 地区社協と住民との連携・協働</p> <p>② 福祉学習とボランティア</p> <p>③ 在宅福祉・介護予防サービス</p> <p>④ 関係団体との協働・連携</p> <p>⑤ その他</p> <p>以上の5項目を基本として、地域性を活かし、事業を計画的に展開する。地区社協が中核となって、住民の主体的参加を基本とした地域福祉活動をより計画的・具体的に進めると共に、ささえあいと思いやりが育つ里難波の推進を図っていきます。</p>

難波地区 地域福祉活動計画

1. 基本理念

ささえあい 思いやりが育つ里 難波

2. 基本計画

(1) 地区社協と住民との連携・共働

実施計画	年度計画					5年計画
	4	5	6	7	8	
差別・いじめのない地域	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	差別・いじめのない地域づくりを学校等と連携・共働して住民に働きかけ、皆が笑顔で過ごせる地域づくりを推進する。
理事・評議員会の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	広く地域住民の意見を集約する等、理事・評議員会を充実し、必要に応じて臨時に開催する。
地区社協の拠点活用	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	公民館との共働により、拠点に関連した周辺環境整備の充実を図ると共に、関係機関と連携・共働を図る。
各事業の積極的推進	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	住民が安全で安心して生きがいの持てる地域づくりに各事業を通じて積極的に推進する。
地区社協 会費制度	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	社協活動の啓発を図り、会員制度を充実すると共にその用途についても明らかにして理解が得られるよう広報する。
共同募金活動への参加	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	共同募金活動の強化を図り、配分金の確保に努めると共にその活用については住民に広報し、理解と協力者の拡充に努める。
福祉だよりの発行	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	編集委員会を開催し、内容の充実を図り継続して発行する。各区の協力のもと全戸配布を行う。 年2回発行、号外2回発行

(2) 福祉学習とボランティア

実施計画	年度計画					5年計画
	4	5	6	7	8	
共同募金活動	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	共同募金について広報・啓発に努め、戸別募金・大口募金・職域募金等を推進する。
学校行事等への参加	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	小学校・中学校が実施する行事への参加・協力を継続すると共に見守り、声掛けにより連帯感が持てるよう取り組んでいく。
保育園児との交流	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	保育園と協働で保育園児との交流・親和を図る。
児童健全育成に関する事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	三世代交流グランドゴルフやふれあい田ん坊、しめ縄作り等を通じて子供達と融和を図り、健全育成に資する。
福祉学習事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地域住民の参加が得られるテーマや学習内容を検討し、福祉情報の発信・啓発を行う。いきいき健康教室等を継続開催する。
ボランティア育成	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	ボランティア団体の育成、助成をすすめ、少子高齢社会に対応出来るような体制づくりをより一層推進する。

(3) 在宅福祉・生きがい介護予防サービス

実施計画	年度計画					5年計画
	4	5	6	7	8	
ふれあい・いきいきサロン事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	4ヶ所のサロンの支援を継続する。サロン代表者交流会を継続し、意見交換等を行い生きがいの醸成に資する。
独居高齢者配食訪問	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	年3回の配食サービス・水分補給サービスを継続実施し、要望等の聞き取りを行い、安心のある生活の支援をする。
独居高齢者等慰問	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	敬老週間に訪問、記念品を渡し各種相談に応じ、安全で安心出来る生活の支援を行う。(独居・寝たきり高齢者宅等)
独居高齢者等見守り	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	独居高齢者及び高齢者世帯を地区民児協・独居高齢者みまもり員等と協働体制にて支援を行う。
地域福祉サービス事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地域福祉サービス事業への参加の啓発を推進し、介護予防等に資する。

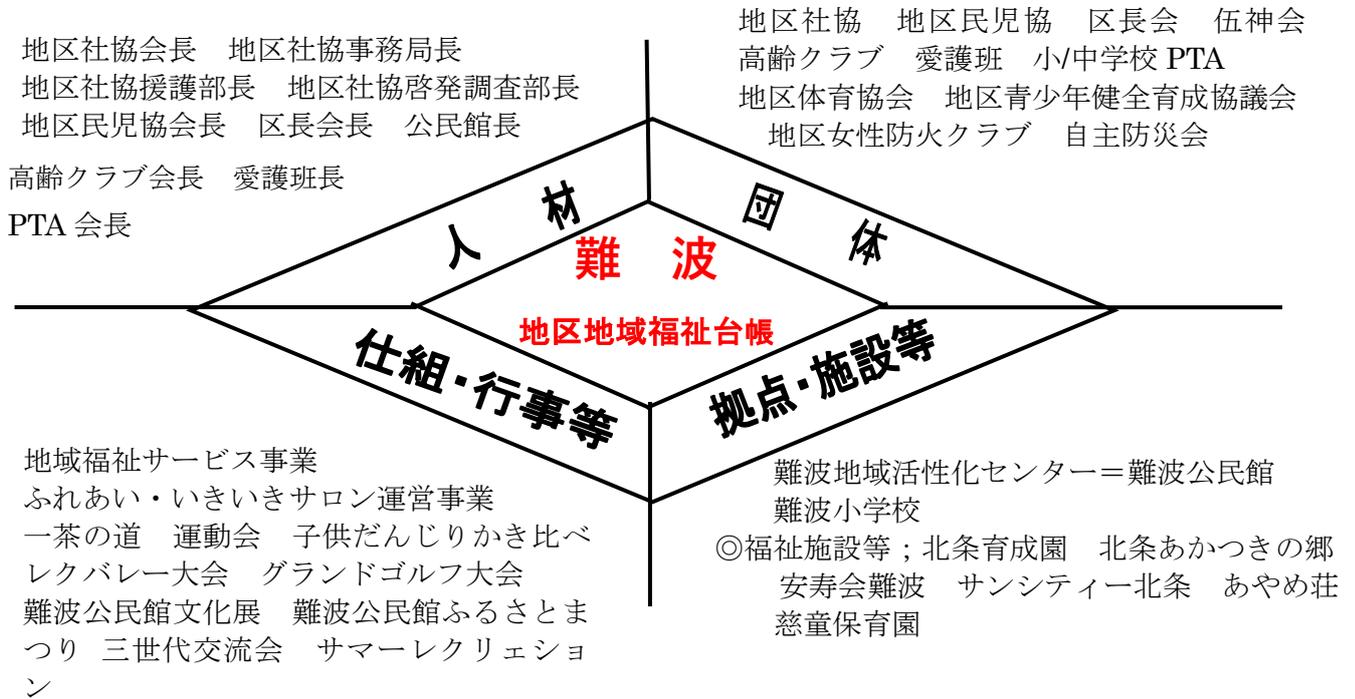
(4) 関係団体との協働

実施計画	年度計画					5年計画
	4	5	6	7	8	
民児協との協力	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	民児協との役割を明確化しつつ、地区の民生児童委員とより一層の協働・連携を図る。
高齢クラブ支援	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	共催事業も含め、高齢クラブと協議の上、支援・協働・連携の緊密化を図り、高齢者の社会参加・介護予防を推進する。
自主防災組織への参画	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	区長会・地区民児協・女性防火クラブ等との連携充実を図ると共に、避難行動要支援者への支援対策の充実を図る。
福祉施設との協力	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地区内にある福祉施設等との連携充実を図ると共に事業実施への参画・連携を緊密に行う。
地域包括支援センターとの連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	センターと事業実施への協力や地区高齢者諸問題について対応し連携・共働して解決を図る。

(5) その他

実施計画	年度計画					5年計画
	4	5	6	7	8	
防災・減災体制の強化	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	公民館・自主防災組織との連携による防災・減災体制の充実と避難所に避難しやすい体制づくりを推進する。
高齢者福祉施設等との交流	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	高齢者福祉施設等への訪問を実施し、要望や意見交換をして相互連携を推進する。
各種大会・研修会への参加	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	大会や研修会等に積極的に参加し、情報交換を図り、地域活動の事業推進に役立てる。
ひとり親家庭見守り	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	家庭の現状把握と見守り、困窮状態に陥らないよう地区民児協との協働体制で行う。
郷土遺産保存活動の推進	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	郷土遺産(庄獅子舞等)に対し、伝統文化が保たれるよう支援する。
各種団体への助成	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	高齢クラブ、難波子供教室への活動強化に対し支援する。

難波地区 地域福祉台帳



【地域の概要】（※松山市住民基本台帳R4.7.1より）

●面積	9.44 km ²	●世帯数	934 世帯
●人口	1,789 人	●65歳以上人口	750 人
		●高齢化率	41.9 %

ー地域福祉台帳についてー

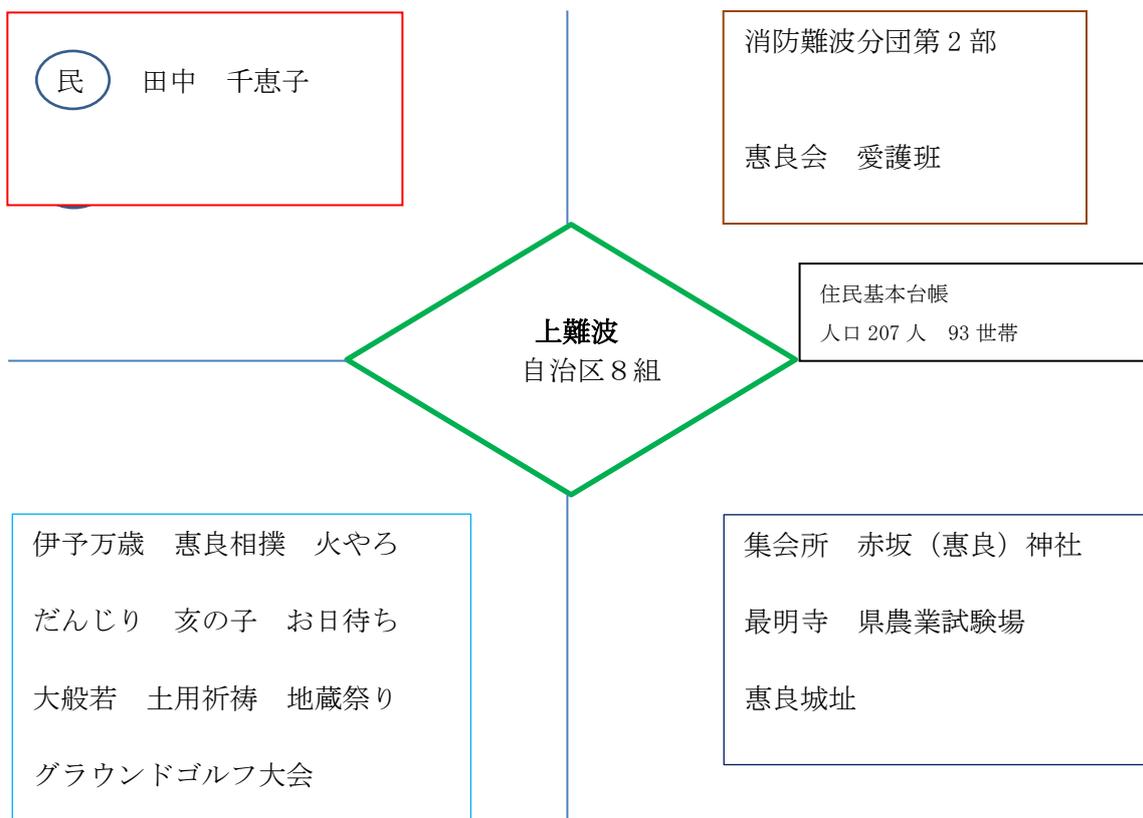
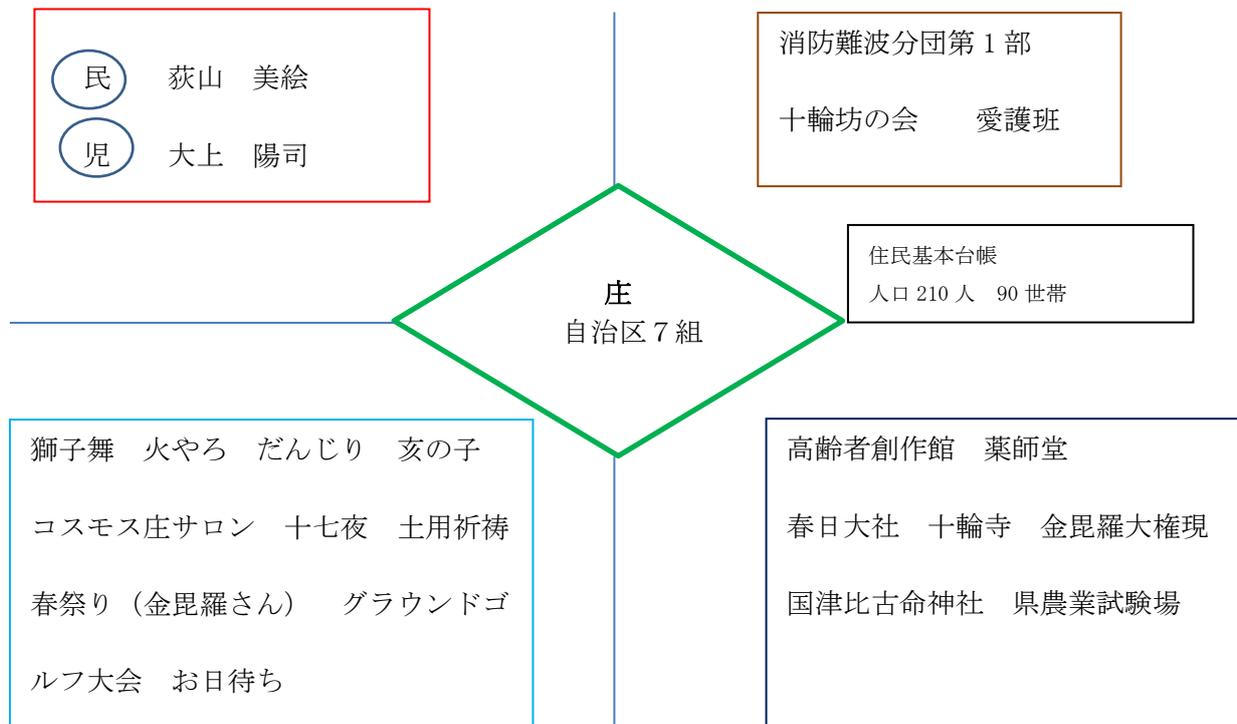
- この台帳は、人材・団体・仕組・行事・拠点・施設等の資源を地区別ごとにまとめたものです。

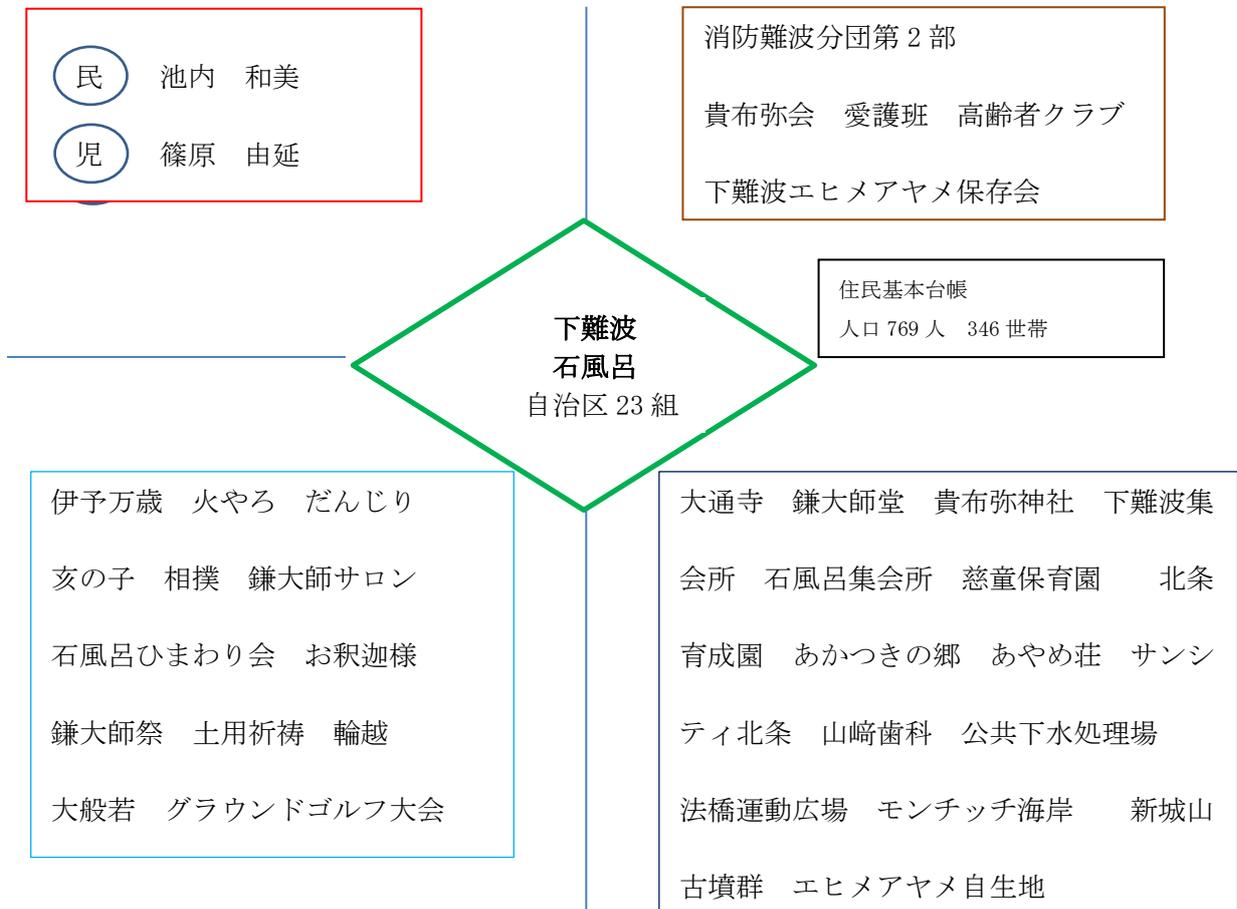
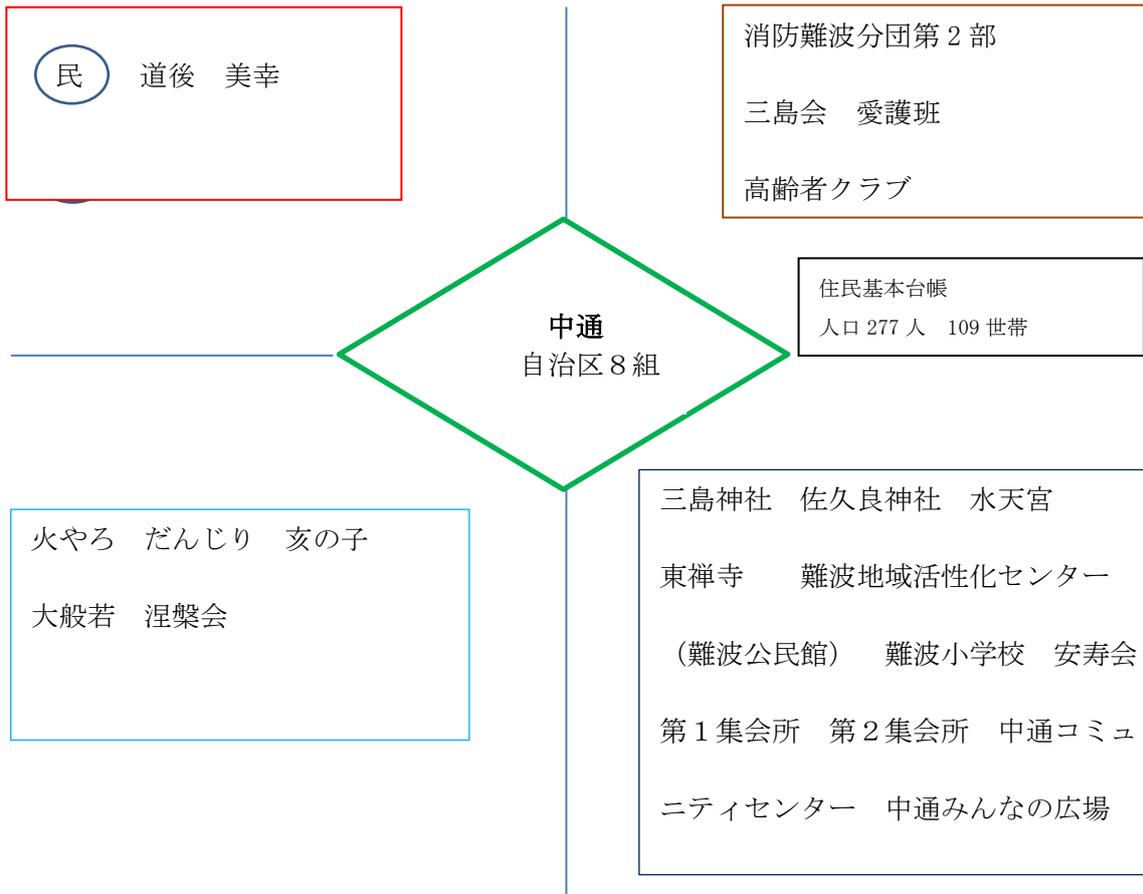
※ 自治会；6区＝庄区、上難波区、中通区、下難波区、石風呂区、大浦区

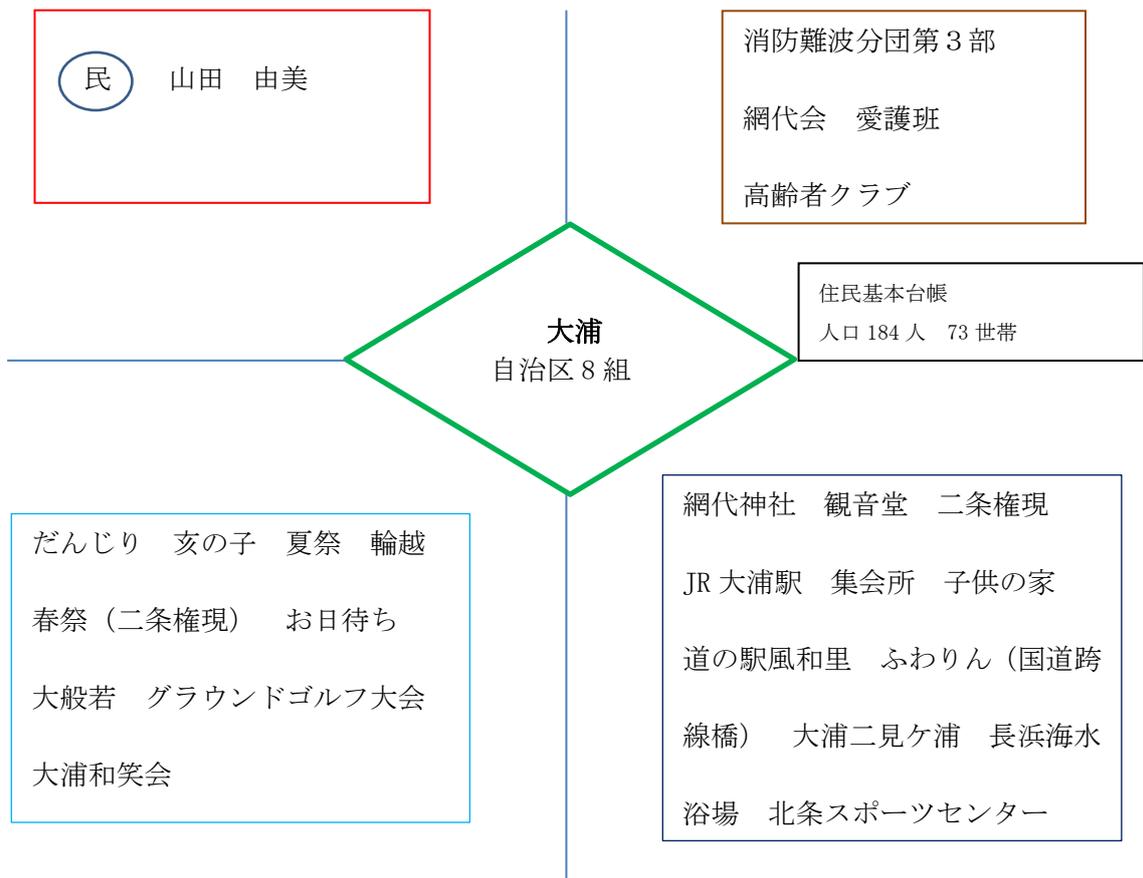
- 今後も新たな情報の追加・変更等を行います。

〈略語一覧〉

Ⓜ 民生児童委員 Ⓜ 主任児童委員







難波っていいところやね〜。



ほーよ、ほーよ！！



■ 第2期難波地区 地域福祉活動計画策定委員会の開催状況

策定委員会の開催

策定委員によりワークショップ形式で話し合い、各事業の評価と課題をあらい出し、5ヶ年計画を検討・作成する。

回	開催日	会場	参加者	内容
第1回	R 4.6.3 (金) 19:00～	難波地域 活性化 センター	8名	地域福祉活動計画について 計画期間について 作成・担当・手順について
第2回	R 4.7.5 (火) 19:00～		7名	5年計画の考察 基本計画・理念について 地域福祉台帳について
第3回	R 4.8.4 (木) 19:00～		9名	福祉活動計画の修正点確認 福祉学習・ボランティア活動 について
第4回	R 4.9.6 (火) 19:00～		15名	福祉活動計画の修正点確認 在宅福祉・関係団体について
第5回	R 4.10.4 (火) 19:00～		9名	福祉活動計画全体の最終確認

(※参加者数には市社協事務局職員を含む)

<会の様子>



第 2 期 難波地区地域福祉活動計画策定委員会 名簿

役 職	氏 名	備 考
委員長	池 内 和 美	地区社会福祉協議会会長 地区民生児童委員協議会会長
委 員	中 村 祝 志	地区社会福祉協議会副会長 難波公民館長
委 員	大 上 陽 司	難波公民館副館長 地区民生児童委員協議会副会長
委 員	篠 原 由 延	地区社会福祉協議会事務局長 主任児童委員
委 員	荻 山 美 絵	地区社会福祉協議会啓発調査部長 民生児童委員
委 員	田 中 千 恵 子	地区社会福祉協議会評議員 民生児童委員
委 員	道 後 美 幸	地区社会福祉協議会会計 民生児童委員
委 員	山 田 由 美	地区社会福祉協議会援護部長 民生児童委員

(令和4年10月現在、順不同)

第 2 期 難波地区地域福祉活動計画

発行：難波地区社会福祉協議会

《問い合わせ先》

松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課

〒790-0808

松山市若草町 8 番地 2 松山市総合福祉センター内

Tel : 089-941-3828 / Fax : 089-941-4408

Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

E-mail chiiki@matsuyama-wel.jp

発行日：令和 4 年 1 0 月